

1. 堤の会の紹介

広島市安佐南区伴東7丁目、松宗地区にある松宗堤（ため池）や、火山（488.3m）登山道、そこを流れる松宗川などの整備をしているのが、「堤の会」です。この地域の自然環境を整備して、多くの人々が憩える場にしようと活動しています。堤は、この地域では一番大きなため池で、1941年（昭和16）に完成し、以後、この地域の農業発展に寄与して来ました。土手に大きな石碑があるのが特徴です。面積は、約1700m²。深さは、約4m。古い資料では、貯水時の水面の高さ：2.31m、貯水量：623m³とあります。1999年（平成11）6・29の豪雨災害時、近くの地域のため池で1人亡くなったことで、松宗堤の水を抜いた後、放置されて、人が入れないジャングルの状態となっていました。



（堤の土手にある石碑）

2. 今年度の主な活動状況

2020年（R2年）

- ① 4月1日（水）第2回堤の桜の花見会（10人参加）
 - ② 6月6日（土）春の堤の整備実施（通算13回）（15人参加）
 - ③ 5月下旬～6月上旬 松宗川のホタルを、子どもたちと観察する。
- * K君（小3）と、Mさん（小5）のまとめです（20時半～21時頃）（ホタルの数は、匹）

月日（曜）	ホタルの数	月日（曜）	ホタルの数	月日（曜）	ホタルの数
5.31(日)	8	6.4(木)	9	6.8(月)	10
6.2(火)	14	6.6(土)	12	6.10(水)	8
6.3(水)	12	6.7(日)	12	6.12(金)	8

- ④ 9月14日（月）カワニナを採取し、松宗川にまく。（2021.1.14も実施）
 - ⑤ 10月11日（日）まちづくり・生涯学習情報誌『らしっく』誌から、堤の整備について取材を受ける。同誌（Vol. 58、2020.11月号）に掲載される。
 - ⑥ 11月9日（月）秋の堤の整備実施（通算14回）（16人参加）
 - ⑦ 12月15日（火）堤の整備実施（今年3回目）川から池に水が流入工事をして完成。（7人）
- 2021年（R3）
- ⑧ 1月1日（金）積雪のため、火山登山初日の出は中止。（集合場所には2家族6人が来られる）
 - ⑧ 2月5日（金）来年度の準備のため、①登山道の溝の上の橋、②ピオトープの2つ目の池、③堤内部の排水溝、の3地点の現地調査をして設計図などの準備作業をする。
 - ⑨ 2月14日（日）堤の池の中にカエルの卵塊2個を確認した。20cm×25cmと15cm×18cmの楕円形の大きさ。2月20日には、カエルの卵塊が3個増えていて計5個となっていた。早いものは、オタマジャクシとなり卵の近くで動いていた。
 - ⑩ 3月11日（木）総会（活動報告、会計報告）

3. 成果

- ・例年行っている、堤の土手や火山登山道の整備には、今年度地元の中学生も参加してもらえた。
- ・2014年の整備で植えた桜の木が多くが花が咲き、花見会が実施できた。
- ・今年度初めて堤の内部の整備に取り組み、ピオトープの池づくりを行った。水を入れてから数か月で、カエルが卵塊を産み、オタマジャクシとなっていた。現在、池の中では、アメンボ、イモリ、ヒキガエル、水草が確認されている。最近堤へ行くと、カエルの鳴き声も聞こえるようになった。



（2020.11.9 堤の整備を終えて）



↑（完成した池 3m×6m、深さ50cm）（2020年12月）



↑（カエルの卵塊、5個）（2021年2月）



↑（ふ化したオタマジャクシ）



←卵塊

水草→



4. 課題

- ・今年度初めて、堤の内部に1つの池を整備できたが、もっと拡張する必要がある。来年度は、2つ目の池を整備することを考えている。
- ・昨年度の夏の豪雨で、堤の上流が崩壊し大量の土砂が堤の内部にも流入した。排水溝の再整備と、流入した大量の土砂をどうするかも課題である。
- ・松宗川にも大量の土砂が流れ、濁った水が1か月以上も続いた。そのため、生息していたホタルが激減したと思われる。